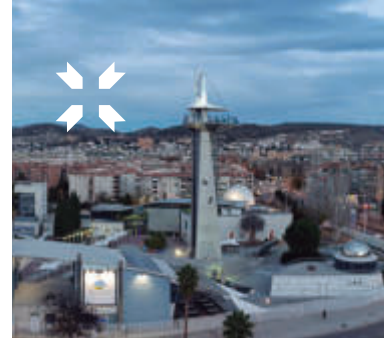


 **グラナダ**
2031 | 欧州文化首都
候補都市

GRANADA
CARD BONO
TURÍSTICO



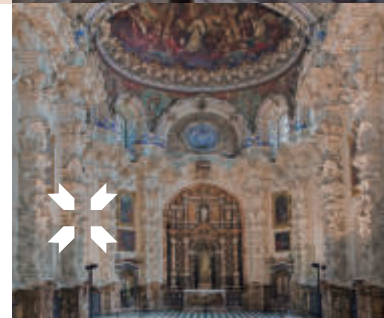
アルハンブラ宮殿とヘネラリフェ
この素晴らしいアンダルシアの遺産は、スペインで一番観光客の多いモニュメントであり、全ヨーロッパの象徴とされています。アルハンブラとヘネラリフェは、イスラム教徒の君主は地球上に楽園を再現しようとした繊細な中世イスラム建築の一例です。アルハンブラ宮殿とヘネラリフェは中世イスラム建築の繊細な美の真骨頂であり、イスラムの王達はこの地上に楽園を作ろうとしたのです。



アルバイシン、世界遺産指定地区
アルハンブラ宮殿の反対側の丘の上にあるアルバイシン地区は、アラブ諸国の典型的な狭い路地と白塗りの家がある町並みで中世時代の面影のある地区です。地区全体がユネスコの世界遺産に登録されており、素晴らしい展望台からは、世界で一番美しい夕日と呼ばれている景観が眺められます。



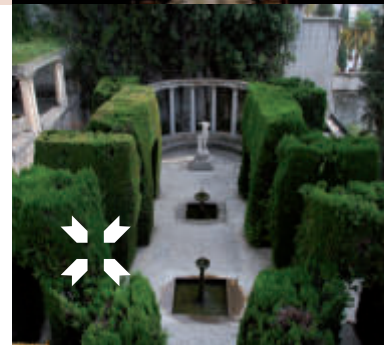
グラナダ大聖堂 と王室礼拝堂
キリスト教がグラナダを征服した後で、カトリック女王イザベルは、1505年にグラナダ大聖堂の建設を命じました。圧巻のファサードを有し、息を呑む美しさの内部には、スペインのルネッサンスの真の宝とされる壮大な素晴らしい祭壇があります。大聖堂の隣には、後期ゴシック様式の王室礼拝堂があります。自らの永眠の場としてカトリック両王の命によって建てられました。



サクロモンテ修道院
修道院は、ロマ民族地区であるサクロモンテの丘の頂上に、バルバライソ渓谷を望む場所に位置します。そのファサードは、アンダルシアのルネッサンスの素晴らしい例であり、その内部ではムデハル様式の天井と格天井が際立っています。敷地からは、グラナダならではのフラメンコスタイルである「サンブラ」が生まれたサクロモンテの洞窟住居が多数見渡せます。



シエラ・ネバダ山脈
北半球の最南端にあるスキー場です。ヨーロッパ最大1200メートルのゲレンデがあるシエラネバダ山脈は、春の季節には、午前中はスキーを楽しむ、午後はビーチに下りて過ごすことができるという恵まれた地にあります。



科学博物館
科学博物館は、1995年の開館以来、アンダルシアで最も入館者の多い博物館の1つであり、スペインの重要な科学博物館の1つでもあります。現代的な建物では、来館者は宇宙、人体、アル=アンダルスの科学を巡る旅を楽しむことができます。また、パイオームでは最もエキゾチックな動物を身近に観察することができます。

イスパノ・イスラム邸宅
グラナダのアルバイシン地区とシレホ地区には、今日に伝わる貴重なイスラム市民建築の例が見られます。サフラの家、クアルト・リアル、ダル・アル=オラ宮殿は、アンダルシアの昔の住民の日常生活を垣間見ることができます。これらの住宅の他にも、11世紀のアラブ浴場のバヌエロがあり、グラナダで最も古いモニュメントです。

カルトゥハ修道院
グラナダのカルトゥハ修道院は、スペインおよびアンダルシアのバロック様式建築の最高傑作の1つです。教会、聖具室、聖櫃には、素晴らしい装飾が施されており、巨匠フェデリコ・ウルタド・イスキエルトの作品が際立っています。

サン・ヘロニモ修道院
カトリック両王によって設立されたサン・ヘロニモ修道院は、他に引けを取らないルネッサンスの宝です。グラン・カピタンが妻のマリア・マンリケと共に本堂と袖廊とが交わる場所に埋葬されており、英雄軍人としての偉大な功績を物語っています。

ロドリゲス・アコスタ財団
アルハンブラ宮殿の近くにある、ロドリゲス・アコスタ財団は、美しい庭園のあるカルメン(典型的なグラナダの家)に本部があります。建物は20世紀初頭に建築されたもので、様々な建築様式が訪問客に驚きを与えます。アルハンブラ宮殿を見学する際に立ち寄るのに理想的な場所、からのグラナダを一望する素晴らしい眺めにまた違った街の印象を受けることでしょう。

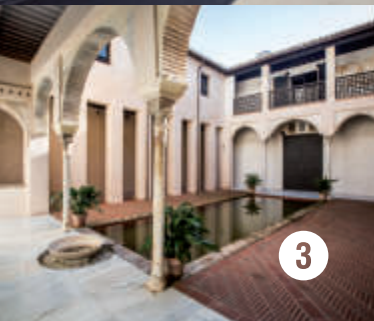
 **グラナダ**
2031 | 欧州文化首都
候補都市



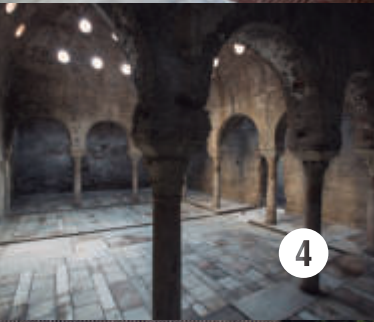
1



2



3

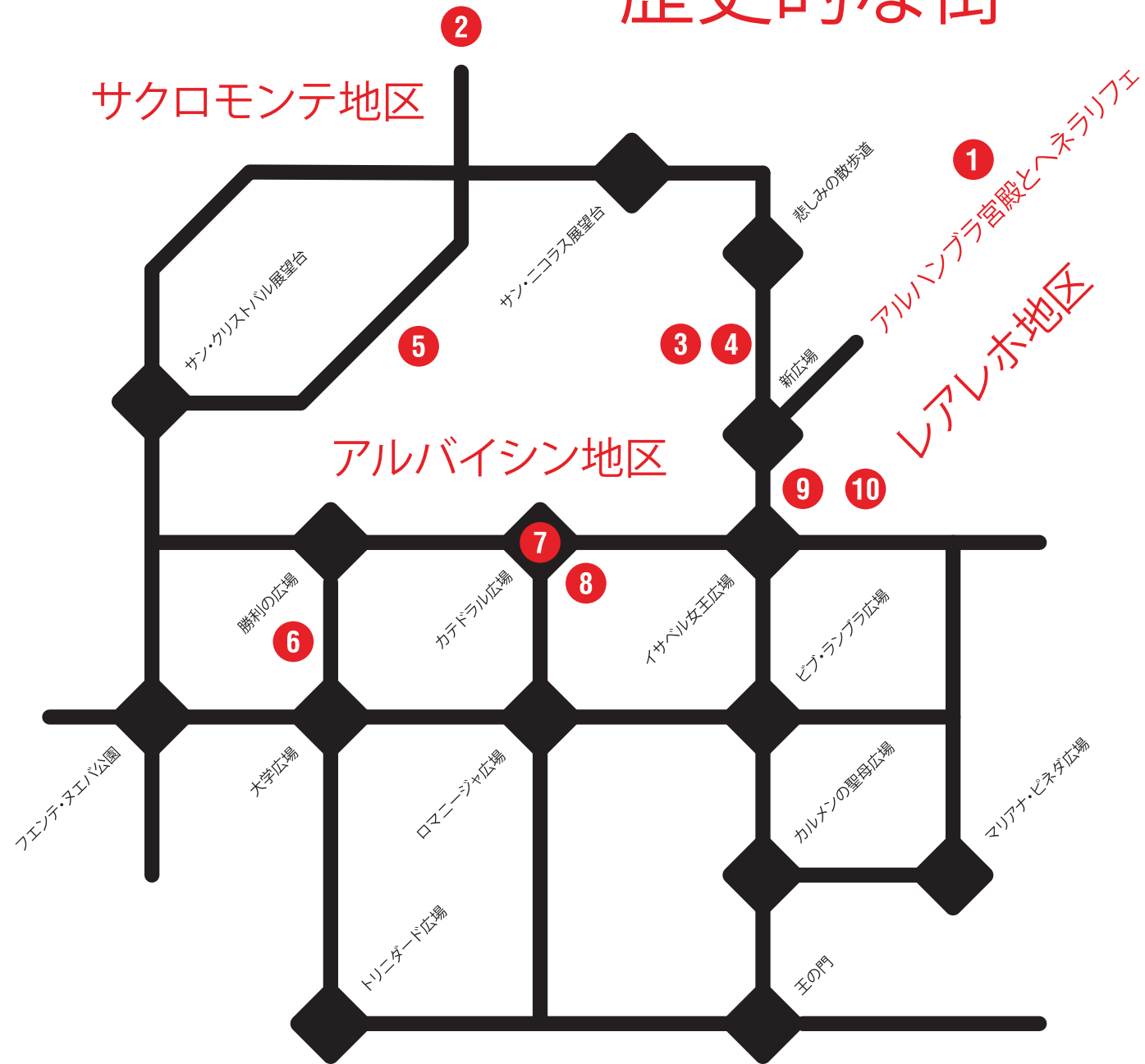


4



5

歴史的な街



6



7



8



9



10

「トップテン」

- 1 アルハンブラ宮殿とヘネラリフェ
- 2 サクロモンテ修道院
- 3 ザフラの家
- 4 バニューエロアラブ風呂
- 5 ダルアルホラーの宮殿
- 6 サン・ヘロニモ修道院
- 7 グラナダ大聖堂
- 8 王室礼拝堂
- 9 コラルデルカーボーン
- 10 サントドミンゴのロイヤルホール